

No. 132

1 / 43.

全 仏



塔のある元旦 中原英彦

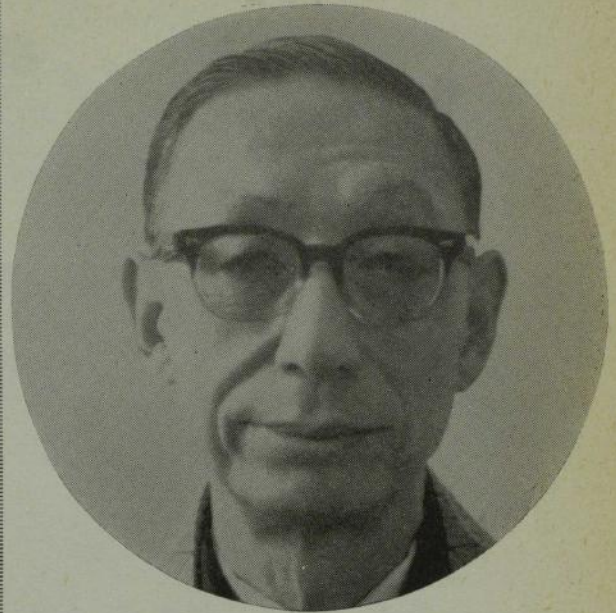
里から寺へ

お寺さんの理想像

語り手 作家 平林たい子さん

財団法人 全日本仏教会

昭和43年1月1日



新しい年を迎えて

全日本仏教会

会長 大谷光暢

全国の仏教徒の皆様、明けましておめでとうございませう。

昨年の秋、新に会長に就任いたしましたことも併せて、ここに御挨拶申し上げます。

今年には明治百年にあたるので、政府をはじめ各方面で、多彩な記念の行事が行われるようであります。私も仏教徒にとりまして、この百年は、まことに感慨の深いものがあります。

思えば明治の廃仏毀釈の嵐は、維新政府の指導理念と結びついて、まことにはげしいものでありましたが、幸にも、仏教各宗に傑僧が輩出され、内に教学の確立と教団体制の近代化、外に護法運動と国内国外にわたる教化活動など、粉骨碎身の努力が傾けられたことであります。その基礎の上に、今日までそれぞれの時代において、先輩の

御苦労が続けられてまいりました。

私もは、ここに改めて、過去百年にわたる先覚の御苦労と、私もが依って立つ仏教の広大な地平とを確めることが大事であると存じます。

今日私どもは、明治の廃仏毀釈という、いわば外部からの難と、質を異にした新しい時代の問題と、取組まねばならない時機に遭遇していると思えます。

第二次大戦後二十三年目を迎えて、日本の国力の復興は目覚しく、特に経済の成長は諸外国の驚きの的になっていく感があります。

これもひとえに、永年の歴史に培われた、国民の勤勉さと、大きな努力の賜であります。

しかしながら、その反面、物質文明の発達とともに、技術の革新と経済機構の巨大化が進み、人

口の都市集中化が著しく、人間は巨大な機構の中の、歯車の一つのような有様になってきました。そこに、本来人間が使うべき機械によって、逆に人間が使われるという矛盾した姿が露呈してきております。

このようなことから、日本民族の精神的風土の荒廃、人間の主体性の喪失という由々しい風潮が生れています。しかもこの傾向は、わが国のみならず、世界的なことであることは、識者の既に指摘しているところでもあります。このような精神的基盤はまた、いろいろの不健康な思想や行動の温床となるものであります。

このような時機であればこそ、私も仏教徒に課せられている使命は重大であります。

昨秋岐阜で開かれた、全日本仏教徒大会において、"仏教をすべての人々の手に"というスローガンが掲げられた意味もここにあると存じます。

幸いに皆様の御協力をいただいて、全日本仏教会は一丸となって、この激動の世に寂靜の天地を開くべく、釈尊の示された無漏の慧燈を掲げて歩みを進めたいと念願する次第であります。

「全仏」購読のお願い

この機関誌「全仏」は各宗派要路、都道府県仏などの加盟団体、そのほか外部関係に広く配付しております。

寺院、個人にもお頒けしますから購読の向は振替貯金ご利用のうえお申込みください。

内容はだんだん刷新改善してみなさまに愛される機関誌にするよう努力します。

誌代 一力年送料とも二四〇円

全日本仏教会

ごあいさし

全日本仏教会理事長

来馬道断



全日本仏教会

(役員)

昨年十一月の全日仏役員改選にあたり、私は再び理事長の重責を、になうことになりました。各位のご支援とご協力を懇願いたします。

顧りみれば、今日のわが国内外の諸情勢は、すこぶる多事多難であります。ベトナムでは、依然として泥沼戦争が続けられており、昨年はイスラエルとアラブ連合



との間に、戦争が勃発しました。後者は一応停戦状態にあり、現在はその戦後処理の段階に入っているようでありますが、われわれに最も身近

かなベトナム戦争のほうは、ますます激化する様相を呈しております。また、隣国中共では、核兵器全面禁止の世論などには耳をかさず、着着とこれの開発に専念し、最近では水爆の実験にも成功して、世界を驚かせました。

人類の悲願である世界平和への道は、まことに遠くかつ険しいものが感ぜられます。いっぽう国内では、あい変らず愚連隊、非行青少年が横行し、また最近では暴徒化した全学連が

跳梁をほしのままにし、収拾すべからざる状態にあります。安保条約や、沖繩返還などの問題を控えて、これまた多難であると思います。

これらの内外の諸問題は、その因ってきたるところも複雑で、一朝一夕に解決すべくも無いが、われわれ仏教徒としては、ただ徒らに拱手傍観しているべきではないと思います。

もちろん、各宗各派それぞれ、その運営と発展のために、総力を挙げて活動していることは、事実であります。

しかしこのような世界の平和につながる問題、一国の消長に関する問題などには、常に全仏教徒一丸となつての活動が、強く要請されております。

幸いにこのたびの改選により、会長に東本願寺の大谷光暢下をはじめ、副会長に長岡慶信下、出口常順下、山田靈林先生と、学徳兼ね備えられた善宿をいただき、理事、常務理事、その他役員に有能練達の士を迎えましたので、今後そのご指導とご協力を得て、時代即応の全一仏教運動を、展開して参りたいと念願する次第であります。

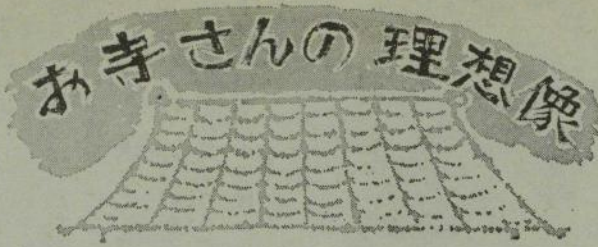
- 会長 大谷光暢
- 副会長 長岡慶信
- 理事 出口常順
- 山田靈林
- 来馬道断
- 常務理事

- 杉谷義周・草繫全弘・上野頼栄・小野塚潤澄
- 華山恵光・中村貞元・村上道隆・小林大巖
- 鶴岡隆玄・豊原大潤・下川弘義・訓覇信雄
- 竹内良恵・片山日幹・栗本俊道・高橋隆天
- 松村寿顕・村瀬良彦・浅野真明・山本
- 阿部龍伝・松本徳明

- 清水谷孝尚・吉田秀映・岡野正道・草津宜浩
- 立部瑞祐・後藤憲巖・森本三鎧・高辻恵雄
- 守中隆璋・星谷慶縁・山中浩文・倉持秀峰
- 熊野龍夫・安藤寿雄・奥博良・間野敬重
- 佐藤覚雄・蒲池繁・中山理々
- 監事
- 春山定・野口宥興・船口暉子

里から寺へ

(五)



連載 在家対談

聞き手前白

既成仏教の教団と僧はいかにあるべきか——これについて在家篤信の諸賢の卒直な指摘と苦言をいただいて、教界の反省研修の資にしたい。このような趣旨目的でこの「里から寺」へを企画しました。私は全仏の広報業務をお手伝いしておりますが、根っからの在家の者でございます。どうかご遠慮のないところを……。

聞き手 西本 栞 作

(全日本仏教会組織専門委員)

ましたし、お寺の坊さんが同じ学校でしたから、わりあい親しみがありませんが、よくお話しをしていまして、これは仏教のことではなく、世間話です。

そんなわけで、特別に宗教的雰囲気はございませんでした。

——まあ、普通の仏教家庭ということでございますね。

平林 さようでございます。

——先生は、お若いときは、だいぶ左寄りでしたわけですが、そのために宗教には、ずいぶん反感を感じていらっしたんでございましょう。

平林 ええ。「宗教は阿片である」とレーニンはいったそうですが、しかしわたくしはそれほどでは思いませんでした。

いままで、仏教は阿片にはなりませんでしたね。

——マルクス・レーニンの教条主義が強い、といいますが、北朝鮮の宗教弾圧というものは、たいへんに極端なものだそうですね。

平林 そうですかね——。それは始めて聞きました。つまりキリスト教弾圧で

すね。

——朝鮮は、仏教よりもキリスト教だったんですから——。

平林 そうでございましたね。

——それで、北朝鮮でかくれて礼拝なんかする者がいますと、国家反逆ということで、処刑されるんだそうですね。

平林 そうかも知れませんがね。

——極端に宗教を弾圧するんです。

平林 つまり、アメリカニズムとつながることを、恐れているんじゃないですか。

朝鮮のキリスト教というのは、日本の統治時代から、アメリカの宣教師が来てまして、学校を建てたり、社会事業をしていて、どんな田舎にも、どの村にも教会がございましたね。

ですから、いま、朝鮮の青年の日常生活の習慣は、みんなクリスチャンの習慣です。

——さてそこで、仏教そのものは、別に衰えたということはないけれども、既成仏教教団は、不景気になった、下火になった、というのでやまじいのですか、先生はこのありさまを、どんなふうにお感じになっていきますか。

平林 それはやはり、ある特殊な日蓮系の宗派以外の仏教は、その仏教の教義が、若い人の気持を開らく、ということが少なくなっているんじゃないかと思えますね。

——若い人たちに魅力がなくなりました。

平林 ええ。一時、新興仏教というのがはやったことがございましたね。なん年くらい前でしたか……二〇年くらい前ですか。あのころは一種の宗教改革みたいな感じでしたが、結局、不徹底で終わってしまいましたね。日本にはまだ、宗教改革というものはないんですよ。

——それは、仏教史なんかの先生がたのお説によりますと、仏教が絶えず政治権力なんか結びつき、そしてだんだん墮落して行く。しかしながら、世間の人たちは、やはりほんとうの宗教を求める気持がある。そういうときに、いわゆる新興宗教的なものが発生する。たとえば明治維新の直後に、仏教に魅力を失った民衆が、例の教派神道十三派といったものに行く。それにもだんだん魅力が失われて行く。

戦争がある。時代が変ってくる。坊さんはだんだん墮落して行く。そこで今度は、いまの新興宗教というものが出てくる。そのように仏教史の先生がたはおっしゃっていますね。

教義に魅力がない

平林 そうでございませうかね。昔は、たしか戦国時代以後、仏教徒はいつて権力に対して戦ってましたね。しかし、そのうち時がたつと、その指導者が、みんな支配階級になってますね。

——信州は仏教県でございませうし、ご生家の宗旨は真宗ということでございますが、その仏教的な雰囲気というものは、どんなふうでございましたか。

平林 とくに信仰が深かったとは思いません。ただ、母はよくお祀りをしてい

——権力のごきげんとりをして、生きながらえようとする傾向になるんですね。
平林 そうなるんですね。しかしそれは別に、日本の仏教の運命というわけでもないんでしょうけれど——。
いまは仏教の教義というものはあまり生きていませんね。

仏教が、生きている間の気持は支配しないで、死ぬときに後生を保証するだけの仏教になっている。
現世をちつとも保証しないんです。
——つまりいまの仏教は、死人だけを相手にしているんですね。そこで、葬式仏教、葬式坊主。法事仏教、法事坊主という声になってくる。生きているものを



見かけはただの女。浅間山のような熱気を内に秘めて、朗らかに、熱心に語る平林たい子女史。

語り手 作家 平林 たい子

相手にしないから、だんだん仏教が下火になるんだ、という説もあるんです。

平林 でも、教義に魅力がないからじゃないでしょうかね。

——そうですね。教義というものは、非常に深いものだそうでございませうけれども、それを運用する、つまりプロの坊さんが、運用を誤ってるんじゃないでしょうか。

平林 そうですね、現代はね。もちろん、現代生活にもふれるところがあるはずなんですけれど、そういうものを見出し得ないで、儀式なんかにはばかり……。

——ですから、既成仏教がいちばんと不安をなくして、いきいきと活動できるように導くのが、仏教の本質的な使命だ。ところがいまやってることは、それを全く無視している、と私は聞いているのですがね。

平林 宗教の現世利益というと、新興宗教のいちばん俗物的なところのようにいいますけど、わたくしは、仏教というものには、もう少し、現世利益を保証したらいいと思うんですが。それはもちろん、お金が儲かるとかいうことでなく、現世で平穩な気持で、自分のビジネスへうち込んでいける信念というもの——そういう現世利益を……。

——そうですね。それが使命でしょう。

平林 そういう現世利益を保証する……。それが使命であるにもかかわらず、坊さんが葬式と法要にあけてくれて、いちばん大事な布教とか教化ということをおおざりにしているというのが、仏教教団衰退の根本原因だということなんです。

ね。

平林 新聞なんかで見ますと、その宗派宗派では、たくさんの坊さんの政治家がいて、とても勢力が対立してたりして、大きな政治があるらしいんですね。だけど、外に向ってはないんですね。

——ありませんね。これは宗派のそこにはなんの効力も及ぼす力がないからそうなんです。坊さんが、実は坊さんというのは、名誉欲というものが、非常に強いんですね。

平林 そうでございませうか。わたくしは坊さんは、名誉欲にはいちばん恬淡としているのかと思いましたが。

——出家という名まえに反して、在家よりも野心家が多いらしいですね。

平林 政治家ですものね、みんな、なかなかね。ああいうのを読んでると、仏教の教義よりもおもしろいですよ。なかなか魅力があるんですから——。

ツルリとした顔

——それで、先生の前で恐縮ですが、女性というものは、どちらかといいますと、男よりも現実的であり、即物的でございませう。

平林 そうですね。お恥しいけれど

——そこで、新興宗教というものがありますと、例えば家庭の問題とか金銭上の問題、あるいは病氣というような身辺のことで、宗教から利益を授かるうとする。それで新興宗教に婦人が走りやすい。

平林 多いですね。大部分は女ですね。しかも相当、教養のある女ですね。

——その新興宗教、例えば創価学会について、先生はどんなふうにお考えですか。

平林 わたくしの知り合いがお葬式なんかしたもんですから、つい一緒にって出て会ってみますと、立派な身なりをして——。昔ははじめのころは、非常に低い層の人だったそうですが、いまは中流生活の女の人が集っていつていることなにかは、それこそ教条主義でしてね……。こういうえはこういう、こういうときにはこういって、でコトバがちゃんと決っているのです。

わたくしは、左翼のコトバはよく知っているのですが、ちょうど左翼のコトバと同じです。コトバの種類が違うだけです。

——そうですか。

平林 カゼをひいたといえ、お題目が足りないとかね。信者がひどいケガをしたという、と、本尊さまの……。

だから、いつもひとつ悪いことを考えてるんです。そうすると、死ぬるところを、ケガですんだ、ということなんです。

——そういういいかたをしますね。

平林 方法がみんな決ってるんです。それで満足してるんですからね。

やはり女の人のといるものは、世間知らずだということを表わしていますね。合理的にものを考えずに、ファンティック(狂信的)といいますが、そういうことが好きだということが、よくわかりますね。

そして男の人なんかには、案外、好物が多いですね。もっとも奥さんにあやつられてる人が、入ってくるのかも知れませんが……。

わたくしは、創価学会の人は、顔を見ただけで判るんです。

——というのは、非常にツルリとしているんです。

現代の生活というものは、非常に多面的で、現代に生きていくということは、自分で意識する、しないにかかわらず、ある意味ではニガイことなんです。顔にそのニガさが現われています。

あの人たちは、それから逃れているらしくて、そのシワひとつない。

だからツルリとしていて、公明党の議員さんであるうと、ちょっとした指導者であるうと、ひと眼見りゃわかるんです。

よく、毛が三本足りないといいますが、シワが一本足りないのですよ。

——それはなにか、精神のうちには充実したものがあるから、それが出てくるんだ、ごいませうか。

平林 そうじゃなくて。

——思い詰めたような、顔じゃございせんか。

平林 それと同時に、ツルリとしているのは、ひとつの苦しみを通過しない、協道を行って行っているんですよ。

つまり現代人の苦しみというものを通過しないから、その中に入らないで、脇道をいくから、ツルリとするんじゃないか、と思うんです……。だから、幸福な人ではあると思うんですが、しかしあき足らないですね。

——その創価学会は、今後、どういふふうになりますでしょうか。とにかく創価学会の信者というものは、ボタ餅を食べようというのでしょうか。棚の上にあげもしないボタ餅。はたして永続性があるかどうかということですね。

平林 わたくしは、勢力の拡大はもう頭打ちしたと思うのです。

地方の、いままでいきわたらなかつた処女地には、いきわたるかも知れませんが……。

あれは東京の大田区から始つたのですが、その大田区で、こんど区会議員がたぐさん落選しましたね。枕をならべて、落選しましたでしょう。

一番の発祥地においてはそうだから、すでにいきわたつたところは頭打ちして、下り坂になっていっていると思います。

しかし、これが全然なくなるということは考えられないので、やはりああいう、新興宗教的な変つたところがだんだんなくなつて、既成宗教的になつて残っていくんじゃないでしょうかね。

もちろん、いまのような大きな勢力じゃなく、ずっと縮少すると思うんです。

青年層の宗教心

——そのときには、仏教の既成教団の運命がどうなるか。この問題について、ひとつの見解をもつていられるかたの説によりますと、いまのように坊さんが泰平の夢をむさぼつて、のん気にしていると、日本の仏教界は、一部に出家教団という形を残して、あとの大部分は在家教団という形で、進んでいくのではないかと。

要するに、プロの坊さんがいなくても、われわれは信仰を維持していけるんだ、という方向に進む。

例えばいまの創価学会にしろ、横浜にある孝道教団、そのほかもあるもの在家教団があるんですが、それがうんと殖えらんじやないかという説があります。

平林 しかし、創価学会があれだけ大

きくなつたのを見ると、日本人が宗教を求めていないといえないと思えます。

ですから、いままでの仏教の教化運動のやりかたが、全く時世にあわなくなつていると思うんです。

仏教のことをよく知らないからいえないんですが、いまのまま、在家の宗教運動が、そんなに進むということも、考えられないのです。

しかし、特殊な、ああいう創価学会みたいな、なにかひとつ、現代人のムードにふれば、それから火花を発するといふことはわかるのですが、しかしそれは新興宗教であつて、根の浅いものですから……。

——お寺がございませぬ。檀家がございませぬ。その関係はどうかといひますと、ただ、菩提寺だから、単に情勢的に、あるいは習慣としてつながつていられるだけで、檀家にあまり信心がない。若い人になりますと、宗旨とかお寺とか、ほとんど無関心だといふ嘆きがあるそうです。

平林 しかし、それはある程度、しょうがない。

資本主義がこういうふうで発達してきたところでは、キリスト教でさえ——日本で仏教が潜在的な思想を支配する力をもつていますね。それ以上に、キリスト教というものは、ヨーロッパ人を非常に強く支配していますね。

その人たちの、現代の思想の根底というものは、キリスト教によつていられるんです。

しかし、欧米人の若い人は、日曜日に教会にいけないのが普通らしいですね。昔はみんな行つたものですが。これは世界的な現象ですね。

——青年がだんだん宗教に無関心になるのは、どんなわけでございますか。

現代生活というものが非常に複雑になり、関心面がとて広くなりましたね。そこで宗教にまで関心が向かない、といえますでしょうか。

平林 こんなに唯物的になり、機械的になれば、精神的なものを求める気持ちも一方にある……その必然性はありますね。アメリカ人が神を求めるように、ね。しかし心のヒマがないんじゃないでしょうか。それを求める心のヒマがない、というふうな感じがしますね。

でも新興宗教は、ヨーロッパでも、キリスト教の新興宗教は、非常な勢力をもっているらしい。

原理運動なんか、キリスト教の流れです。病気をなおすとか、いろいろなこと



明治のおわりごろ、長野県諏訪郡中州村の福島（いまの諏訪市中州）というところの名主の家がらに生れた。

興立諏訪高女（いまの県立諏訪二葉高校）在学中から社会主義思想にめざめた。

女学校を卒えてすぐに上京、電話交換手になった。大震災のとき、市ヶ谷刑務所に強制的に収容されたほどの女闘士になっていた。

大正十四年、二〇才のころから、童話や探偵小説を書き、雑誌「新青年」や博文館の刊行物になるようになり、作品がゼニになるようになった。創作の処

が、日本と同じですね、ヨーロッパも。

——科学教育が非常に進んだ、科学万能という世の中になった。そこで精神的なものに対する関心が、薄れたといえますか。

平林 それはいいえないと思います。新教なんて、科学が発達し始めてからできたもので——幼稚なときには旧教しかなかったのですから。

科学が発達してから新教ができた、それを考えても、宗教と科学は、そう背馳するものではないでしょう。

はじめは宗教が科学だったと思うんです。宗教が科学の役割をしたんですね。

大地震があれば、神の怒りだという説明は、宗教的説明であると同時に、科学の説明だと思ふのです。

地震の原因なんてわからないものから、神さまがやったというのが、ごく

女作は、大阪朝日新聞の懸賞短編小説に当選した「嘲る」である。これで文壇にでたといえよう。

昭和十二年のいわゆる人民戦線事件で検挙され、九カ月の留置場生活は有名な話である。

貧乏、それに数年にもわたる闘病。平林さんの人生は、肉體（病氣）と精神（愛情）の危機の連続であった。

平林さんは、どんな苦しみも、すて身の戦法で乗り越え、そしてそれを、人間形成のこやしにした。

あまりにも遅ましい生活力のゆえに、世の人は平林さんを、

素朴な科学じゃないでしょうか。

ところが、だんだん神さまのなさるところと、自然現象との区別がついてきたわけですね。それで科学というものが、別のものであったのですが、はじめは一緒だったのです。

現代仏教の末路

——そういうところから、いろいろ考えてまいりますと、青年層に宗教心——このばあいでは申しませんが、仏教の信心というものを与えるべきか、このままでいいか。どう思われますか。

青年に仏教の信心を植えつけるには、どうしたらよいでしょうか。

平林、いまのままの仏教を、青年に与えるといっても無理でしょう。口をあけて手をあてて、ニガイ薬を飲ませるようなもので、そんなことはできない

女丈夫、女傑、男まさりの強妻型と思ひ込んでいるが、さにあらずである。

この人ほど女性的、そして母性的なやさしさを満えたひと珍らしい。だが、田地文子さんによれば「熱つて人、いつも熱つくと冷めることのない火の女性」という。

その判断力のすぐれていることは、つとに定評がある。

女流文壇第一人者。いまでも健康、恵まれた物質生活であるが、深い淋しさもある。住いは東京都中野区沼袋四—三

四。

と思います。魅力のある仏教を作りませんか。青年にはいまの仏教は魅力がありませんよ。

わたくしは、仏教は「仏教学」として、「仏教哲学」として、学問の対象みたいになって、消えていくんじゃないか、という気がするんですがね。

平林 ええ、いまのままにしておいたら……。

——信仰ではなく、学問として……。平林 そうなっていくんじゃないかと思ひます。

——そうして消えていっちゃう。平林 ええ、それまでには、ずいぶん長く時間がかかりますが、そういうふうになつていくんじゃないか。

在家のほうにきて——お坊さんはいりませんが——在家に広まればいいと思ひますが、そうならず、学者の手に握られるのではないか。それから信仰の対象じゃなく、美術としての仏像……。

——仏像なりお寺は観光の対象……。平林 そうですね。過去の遺物として

ね。それは坊さんにとって困ったことになりましたね。

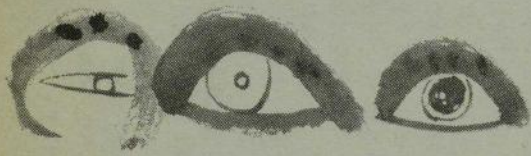
平林 それは坊さんの責任です。

——では、どんな手を打ったらよいでしょう。

平林 それは現代生活にマッチした、仏教の教義というものを、編み出さなくちゃならないんです。

創価学会なんか、成功したと思うんですがそういうふうなものを……。

あれは新興宗教であって、現世利益とは、いやなものだと思ひますが、そうじゃなくて、深奥な仏教の哲学を、現代



に結びつける……。そういうものを……です。

坊さんは、本来の任務であるところの布教活動を、いまはほとんどやらない、という不満がありますね。

平林 そうですね。布教活動より、幼稚園なんかやってる。

—— いけませんか。

平林 そうですね。きのう(十二月四日)信州から汽車に乗ってきましたら、お寺の門があって、幼稚園の建物があって、お墓があって、それでおしまいです。覗いてみたんです。

—— 現代仏教の縮図ですか。

平林 非常に大きな幼稚園があって、うしろにお墓があって、垣根がある。ナルホドと思いました。

坊さんがそういう福祉事業に努力しておられる、という傾向でございませうが、これではかんじんの布教、教化がなおざりになっていくということでしょうか。

平林 福祉事業といっても、アルバイトじゃないでしょうか。

—— 収益を伴うからでしょうね。坊さんといえども、やはり食べていかなければならない。檀家からのあがりも少なくなければ、なんらかの収入のみちをはからなければなりませんね。

平林 そうですね。

坊さんと政治

—— そこでお寺さんの、経済的基盤の安定ということになります。

平林 その基盤がなくなりました。第一、家が移動する、お百姓は都会に出てくる、農村に家が少なくなる、人口が減

る。政府が減らそうとしていっているのですから。ちょうど、仏教徒を減らそうとしているようなものです。都会に出てきたら最後、どこの檀家か知らないんですよ。

—— 団地族という階層が、これまた全然、仏教に無関心——。

平林 そうですね。それは仏教に、魅力がないからしかたがないんです。強制することはできません。税金を命令するようなわけにいきませんから、しかたがないですよ。

—— そこで住職さんが収入が少ないから、しかたなく兼職をもつ。いなかではたいてい学校の先生ですが——。坊さんの兼業の問題はどうでしょう。

平林 それはよくないかも知れませんが、事実上、食べないじゃいられないんですから、そうもいっておれない。

—— お寺の合併はどうでしょう。

平林 なるほどね。事実上、それもできないと思いますね。お寺を売ることではできるが、合併となると、将来に向けてひとつの計画があるわけなんですけれど、いまは過去の情勢ですから、合併という新しい積極性は、ちょっと期待できないんじゃないでしょうか。

—— 仏教と政治の関係でございませうが、坊さんが国会をはじめ地方議員になって、政治に関与する。これは仏法興隆のための手段だからよいという説。僧は絶対に政治に関与すべきではない、政治に関心をもつことは大いに必要だが、政治の場には、自分が出てはいけないうという説。このふたつがあるわけですが、先生はどうお考えですか。

平林 そうですね。仏教興隆のため

に、政治的な要求もございませう。そのために坊さんが政治に出てくることは、例外的にあってもいいと思うんですが。しかし仏教の興隆のために、政治を利用するというのは、すでに末世の現象じゃないでしょうかね。

わたくしも文士として、芸術家の末席をけがしている者ですが、文学興隆のために、政治を利用するなんてことは……。おかしな話ですね。みずからの足らざるところを恥じるのみです。

しかし、宗教取締りの不便な法律なんかがあります。そういうものを撤回するとかいうことのために、ひとりやふたりは出して、国会で主張して貰うということは必要ですね。

自分たちのところから出してもいいし、そういう議員に頼む、というような行為はあってもいいでしょうね。

たいせつな戒律

—— 憲法二十条でいまは政府が宗教に干渉しない。昔は既成仏教といいますが、在来の仏教は保護して、新興宗教的なものは弾圧した時代もございませうし、また、仏教を弾圧して神道を助けたこともありましたね。

ところがいまは、保護も受けませんが弾圧もない。自分の足で歩ける時代になった。その最良の時代に、またしても政治権力に結びつきたがるのが、仏教の墮落の第一歩だということなんです。

平林 しかし政治に出たからといって、権力に結びつくとは考えられないと思います。ただし、野党としてやるんだつたります……。それは野党にも権力はありますが、政治権力としては大したこ

とはないんです。だからいいんじゃないでしょうかね。

外国のキリスト教民主同盟とか、キリスト教の政党がございませうでしょう。

—— とくに西ドイツあたり……。

平林 西ドイツのキリスト教民主同盟というのは、名まえだけのことで、特別にキリスト教的な政党じゃないようですね。

日本の創価学会—— 公明党がもし政権をとったら、とても違うだろうと思うんですがね。いまの公明党の公約どおりだったら、キリスト教民主同盟なんかと、全然、違うものになると思うんです。

公明党もだいぶ引き返したらいいですけど、国教にはしないといっていますね。

—— 公明党はどのくらい、伸びるとお思いになりますか。

平林 わたくしは、創価学会の力のあただけ伸びると思います。

ですけれど、創価学会が頭打ちしてしまいますから、どうでしょうね。

この間、選挙の結果なんかの、詳しい数字を読んだんですが、たいへん頭打ちらしいですね。

—— 五〇人を超えることはないでしょうか。

平林 ないと思いますね。第一、労働組合を作ろうなんていっているのが、そもそも非常に焦っていることを告白していると思います。

労働組合というのは、労働者が自然に集ってできたもので、そのあとで相談して、民社党を支持するか、共産党を支持するかを決めるものなんで、逆に政党のほうから、労働組合を作るとするのはバカな話だし、順序を間違えているし、そ

んなことをやるうというのは、とても焦っていることを告白しているんです。労働組合の土台がないと、伸びられないと考えたんじゃないでしょうかね。

坊さんの生活態度でございませうが、いまの坊さんたちは、ほとんど無戒律ではないか、という人もありますが、なにかお気付きはございませんか。

平林 わたくしが敬虔な仏教徒でないものですからね……。

私は坊主ですよ、といわれて、ああそうですか、そういうばお名まえがそんなお名まえですね、というのですが、普通の人と変らないですね。

わたくしたちがそれを、容認しているんでしよう。

仏教を盛んにしようと思えば、やはり激しい修道の道に入って、無欲で、独身で、野菜を食べて、激しい行の生活をすれば、それがなくては伸びられないと思えます。

——民衆が魅力も尊敬も感じない。平林 そうです。もし再び盛んになるためには、そうやらなくちゃならないだろうと思います。

禪宗なんてのは、ちょっとやりかたによつては、はやるんじゃないでしょうか。アメリカ人に魅力があるということでは、現代に魅力があるということでしょう。

——あれが現代仏教としては、いちばん戒律が残っているほうでしょうか。平林 かも知れませんが、非常に質素な生活でね。荒行をしましてね。

——頭髮を断するは、愛根を断するなり、といつて、現世もろもろの執着を断つための円頂黒衣でしょう。ところがい

まは、ほとんどの坊さんが、長髪をテカテカ光らして、こんなところにするで、心構えがどうかしているではないか。都会では、実生活に不便でございませうけれど、法衣も着けていないといふのです。

平林 動けませんね。コロモにタスキがけで、お餅なんか搗いている写真などみますが……。ちょうど、カトリックの坊さんが、長い裾をバタバタして……。イタリヤあたりの暑いところで……。

宗教は信じない

——法衣で外出をきらうところに、すでに問題があるんじゃないでしょうか。平林 しかしそれは、仏教をはやらせるといふこと、現代にほんとうにマッチした仏教をここに再建することとは違

はやらせることからいって、一種のモデル・ケースみたいな修道院でも作って、扉を閉ざして、齋戒沐浴して、木綿の衣につきあてして、素足で朝早くから行をして、笠をかぶって托鉢に出るのが魅力があります。

しかし、ほんとうに現代に渗透するには、頭髮をわけ、洋服を着て、新しい仏教の教義を、現代にマッチした教義を考えていくほうが、ほんとうは現代の救いだと思ふんです。

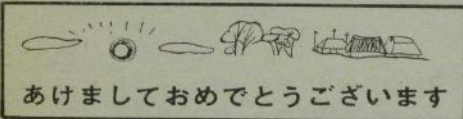
——末梢的な些事に拘泥せず、もっと大きく活眼をひらけですね。平林 ええそうです。ですけれど現代人は郷愁をもっているでしょう、仏教徒の齋戒沐浴した生活に……。それを演じてみせるのもいいでしょう。ショウというか、アトラクティブなことね。

——坊さんの寄り合いがあると、きつと話が出るのは、学校教育で宗教教育を

やるべきではないか、という議論です。これはどうでしょう。平林 そういうことは反対ですね。わたくしは、道徳教育でも反対ですから。こんなことは、自然に体得すべきことです。それこそ、日本の憲法が、宗教を切り離したことは、非常にいいことだと思います。

仏教を教えるなら、キリスト教だの回教だの……。仏教のうちにも創価学会だのいろいろのものが入り込んでいますしね。

——日本の歴史を教える課程で、自然に仏教的な教育というのはどうでしょうか。それは仏教的な教育にもなるでしょうし、神道の教育になるかも知れませんが、仏教は途中から入ってきたんですから、そういうことを教えたなら、ハハア、これも外来宗教か、と思う子供もい



千葉県仏教会

会長 松田明心

理事長 熊野龍夫

千葉県吾妻町二丁目
(光明寺内)

長野県仏教会

会長 半田孝海

長野県小県郡塩田町別所

茨城県仏教会

会長 川田聖見

事務局長 小原泰寿

福岡県仏教会

会長 長一十二鉄鎧

総務局長 甘蔗良淳

事務局
福岡市今泉二丁目長円寺

梵人会

主幹 河合智海

事務局長 森下冬青

金沢市東山二一十四一三十三
(玄門寺内)

近代仏教研究会

壬生照順

東京都
台東区元浅草一十七一七二

るかも知れませんね。

——先生は、最近是非常に右旋回して
いられるわけですが、やはり、マルクス
・レーニンの立場からいうと、これは氷
炭あい容れずというものでございましょ
うね。

平林 それはそうです。宗教は阿片だ
というの、非常によくい現わしたコ
トバです。

——では先生は、キリスト教にしろ、
仏教にしろ、全然、無関係ということで
ございますね。

平林 ええ無関係ですね。無関心とは
いえませんが……。関心はキリスト教に
も、回教にもあります。回教徒とユダヤ
教徒の喧嘩はおもしろいと思います。
(おわり)



謹賀新年

東京本願寺

住職 大谷光紹

輪番 金倉儀一

総本山知恩院

浄土門跡 岸 信宏

- 執事長お手つき運動本部長 鶴 銅 隆 玄
- 法務部長 二 本 松 聖 順
- 教務部長 谷 地 益 雄
- 信徒部長 北 川 一 有
- お手つき運動 副本部長 梶 原 重 道
- 庶部部長 本 田 正 義
- 財務部長 野 々 村 学 念
- 守 廟 長 赤 木 定 順
- 執 事 (維持協会) 小 林 忍 戒
- 開宗八百年事務局長

賀状欠礼

参議院議員

大谷よし雄

曹洞宗光真寺

住職 黒田白純

—御贈答に!! 記念品に!! 布教用に!!—

- ◎全国観光温泉地1泊旅行に御招待
又は豪華なお品を御贈呈(輸入商品1口5万円毎)洩れなく
- ◎日用文化用品を5品御贈呈(輸入商品1口3万円毎)洩れなく

弊社取扱商品(印度・セイロン製)直輸入品

線香・白壇(香・製品)・沈香・民芸品(木彫・象牙・真鍮・其ノ他)等

お問合せは
全国総発売元



{法衣・莊嚴・仏具}
{贈答用・記念品}

梅金商店

名古屋市中区岩井通り4の2 TEL名古屋<052>241-0901・1920

協 賛 印度大使館・セイロン大使館

指定推薦 全日本仏教会・輸入元 かたばみ商事貿易部

◆詳細は御一報下さればカタログを御送附します

熱海 誓欣院
観音倶楽部

長田順海

熱海市上宿七一

日本一の支店網で会費等の
振込にご利用下さい

全日本仏教会取引銀行

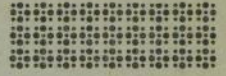
協和銀行

真言宗天台宗専門仏具店

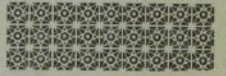
各本山御用達
京仏具 田中伊雅仏具店

京都市下京区万寿寺若宮角

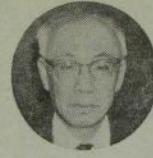
☎075 2584. 5760. 4630



ごあいさつ



事務総長 稲田 稔 界



今回、事務総長の要職をお引受けすることになりました。素よりその器ではありませんが、

各位の法助を辱うして、その職務に努力いたす所存であります。全仏の事務総局は、三局長の重任、一局長の新任で、年度の中途でもあり、急に業務が変更されることもありませんが時局対応の策を樹てて新年度には

総務局長 日野 照 護

任期と年度のずれのため、予定された二三の事業をそのままにして、新らしい職務につくことになったので、いささか心残りな点もありますが、こんどは、より総合的な立場で働かせていただけたことは、まことに光栄のいたりであります。しかしながら、この重責を果すためには、諸先生がたの旧に倍するご厚情を仰がなければなりません。

全仏に席をおいて二年間、各方面の方たちと接触して痛感したことは、全仏組織の実体が思ったほどには一般に認識さ

所期の目的を具現したいと思ひます。しかしながら、なにもを実施するにも予算上の措置が優先するので、限られた費用で最大の効果を挙げるよう配慮したいと思ひます。

第十六回仏教徒大会は岡山県に於て開催が決定し、従来の運営に新味を加えたものとし、地域仏教界の組織化に資したいと思ひます。

また二年後に迫つた万国博について、全仏がどのような方途でこれに対するか、極めて重大な問題であり、国際間の仏教交流、文化活動についても各方面の英智を結集して、真剣に対処して参りたいと思ひております。

全仏はご承知のごとく、各宗派、県仏などの団体で構成されておりました。いつも緊密な連携のうえに立つことを第一義として、和合を旨として邁進いたしましたので、各位の倍旧のご理解とご支援を切望いたします。

れていないことでもあります。全仏とは強大な指導力をもつ、労組における総評のような存在と見え、あるいは各宗派、団体とは遊離した別個の組織と見え、あるいはまったく無用の長物と見え、などであります。こういった点から、過大なご期待をうけて恐縮したこともあり、まとはずれのご批判を蒙り慨嘆したこともありましたが、毒舌で鳴る某師の、ある対談での、全仏についての発言なども、その一例といえます。

そこで全仏とは、加盟各宗派、団体の総意によって組織され、相互の緊密な連絡提携のもとに、全一仏教的な視野をもち、行動する団体であることを、内外に

退任のごあいさつ

このたびに不肖のこと、十一月末をもって全仏役員任満にともない、事務総長の職を退くことに相成りました。

思えば昭和三十九年八月、曹洞宗の推選によって組織局長を一期、引つづき事務総長を一期、と過去四ヶ年間、公私共にわたり、大方諸賢の御愛顧を蒙り、大過なくその任を果たさせていただきましたことは、仏祖の御冥祐はもとより、各位御支援の賜と、心より御礼申し上げます。

今後は自場において、教化に専念いたしますとともに、全仏運動の推進のため、側面から御協力申上げたいと存じております。何卒各位の御法愛を心から念じつつ、御礼のごあいさつといたします。

栃木県大田原市

光真寺 黒田 白 純

昭和四十二年十一月

確認していただくよう、大いに努力したいと考えております。

つきに加盟各団体の実情を、さらに明確に把握して、事業遂行の資にしたいと思ひます。その組織、教化、教育、社会福祉などの具体的なことをそれぞれまとめていきたいつもりもあります。

加盟各団体の弥栄を念願し、またご懇篤なご支援を賜わらんことを切望して、就任のごあいさつに代えさせていただきます。

組織局長 伊藤 勝 淳

再度任命を受け、ようやくいろいろの事情も判ってきたので、いっそう努力をしたいと思ひます。よろしくお願ひ申し上げます。

組織局長は名まえのとおり、組織作りの局であります。昨年は岐阜県、山梨県仏の加盟があり、これで関東、中部、近畿は全部加盟したのでありますが、東北、中国、九州などには未加盟の県がありま

すので、一日も早く加盟していただき、名実ともに、全日本仏教会にしたいものと念願します。

就任の早い、仏教徒会議は愛知大会、岐阜大会と未曾有の盛會裡に挙行されたことは、担当局長として、大いなる感激でありました。

現在各宗団でも、県仏教会でも組織作り努力されておることは結構であります。過去、県仏が主体となつて仏教徒会議を開催された各県では、その後、活発な県仏の組織化が、着着と行われている現況を見るにつけ、仏教徒会議が、単なる花火線香的な、お祭り騒ぎでなかつたことを、たいへん嬉しく思ひておるものであります。

このほか権益擁護の問題につきましても、昨年と同じように努力したいと思ひます。

以上新年度に対する抱負と希望の一端を述べ、各位の変らざるご指導とお力添えをお願いするものでございます。

国際局長 熊谷雄幸

新年おめでとうございます。昨年中の各位のご指導とご援助を感謝申し上げます。新しい年を迎えるに当りまして、国際間の対立と、いっそう激化しつつあるベトナム戦争の悲しむべき現状のうえに、早く平和がもたらされますよう、そしてことごとそ仏陀の慈光が世界全土の上にかがやくよい年となりますよう念じます。

全日本仏教会の国際的な問題は、年々とも加重されてまいりました。国際教では、その基本目標に従って、国際仏教運動の展開を積極的に推進して、仏教による国際親善と平和世界の実現にお一層の努力をしていきたいと思ひます。

とくに本年度は第九回世界仏教徒会議が、パキスタンのダッカで開催される予定になっており、また世界の仏教教育者会議やWFB青年委員会も計画されており、全日本仏教会のWFB日本支部としての、国際的な場における活躍に、各国仏教会から大きな期待がかけられているのであります。

ことしは奮起一番、時局に対応する全仏の国際局にふさわしい活動ができますよう、各位のご理解とご協力をお願いしまして、年頭のご挨拶といたします。

文化局長 桜井大乗

このたび、全日本仏教会の文化局長としてご推挙をいただき就任しました。もとより浅学非才その任に堪えないことを憂

い、はたして責任を完うすることができるかどうかを恐れるものであります。幸に先輩諸師がたのご指導とご協力をお願いし、ただただ微力をつくして、その任をはたしたいと念願しております。



未熟者である私が、全日本仏教会という広い視野の環境に入つて、ひたすらに任務遂行に精進することは、

同時に自分の修練と陶冶に、いささかでも役立つための好機かとも思ひ、ありがたく感じ、さらに全仏の健全な発展のために勉強しながら努力をしたいと思ひます。ここに諸師のご指導と御愛とを切にお願いするものでございます。

神奈川県仏の大会

神奈川県仏の第八回仏教徒大会は、十二月九日午前十一時から川崎市鶴見総持寺でひらかれた。参加者は各寺院住職、寺族、檀信徒など約六〇〇人。今東光師と神学、哲学博士和田聖公氏の講演があったのち、当面の諸問題を協議して午後二時散会した。

四谷仏教会の托鉢行

東京・四谷仏教会（杉本良知会長）は例年のとおり、十二月十一日午後、歳末助け合いのために約十キロの道のりを

募金行脚をした。参加した住職さんなど三十人。浄財四万七千円余が師走の街を急ぐ人たちから喜捨され、恵まれぬ人たちに仏さまの慈悲をと、さっそく新宿区役所に届けられた。街の人にも大きな感動を与えた。

会員四十六カ寺のうち、参加した寺はつぎのとおり。

- 蓮乗院、西念寺、林光寺、本迹寺、妙行寺、日宗寺、円通寺、法蔵寺、東福院、長安寺、顕性寺、一灯寺、安禅寺、法雲寺、太宗寺、成覚寺、正受院、長善寺、笹寺

表紙のこと

一月号の表紙は中原英彦画伯の好意によるもの。中原画伯は佐賀県出身、もとの帝国美術洋画(科)いまの武蔵野美大)出身。二紀会同人、日本美術家連盟会員、昭和十四年に第二六回光風会展に初入選。

いろいろの美展にたびたび入選受賞、洋画壇中堅どころのホープ。さきにヨーロッパ美術行脚をした。毎年、銀座で個展をひらいている。

おことわり

四十三年二月一日発行の「全仏」二月号は休刊いたします。

謹賀新年

全日本仏教会

(事務総局)

事務総長	稲田 稔界
総務局長	日野 照護
組織局長	伊藤 勝淳
国際局長	熊谷 雄幸
文化局長	桜井 大乗
総務部長	阿部 顕瑞
組織部長	柳 了堅
国際部長	近藤 隆敬
文化部長	伊東 堅純
総務局主事	森谷 恵智子
組織局主事	山田 俊一
国際局主事	福井 清俊
文化局主事	真柄 信雄
総務局書記	鈴木 美貴
事務局長	神田 寛雄
組織部長	大内 察爾
国際部長	渡辺 俊英
教化部長	梶原 重道
審議部長	奥 博良
主事	村上 文円
主事	八橋 秀雄
主事	小原 静忍
書記	今井 秀鳳

恭賀・正法顕揚◎新歳

天台宗務庁

座主 即真周湛
宗務総長 杉谷義周

孝道教団 孝道山本仏殿

統理 岡野正道
副統理 岡野貴美子
横浜市神奈川区孝道山

高野山真言宗 宗務所

管長 堀田真快
宗務総長 草繫全弘

埼玉県仏教会

会長 倉持秀峰
事務局長 北之内真龍
浦和市高砂四一十三一十八

岐阜県仏教会

名誉会長 梶浦逸外
会長 和田耕正
理事長 加納博司
副会長 福島昭信
事務局長 浅野真明
岐阜市千手堂北町二丁目
(善福寺内)
電話〇五八二五二二七八三番

真言宗智山派 総本山智積院

管長 那須政隆
宗務総長 上野頼栄
事務局長 田中隆恵
庶務部長 別所弘因
教学部長 小沢照穂
教化部長 出張所長
財務部長 二村俊夫
出張所長 参拝部長
京都市東山区東山七条
電話⑤五三六一(代)

真言宗豊山派

管長 岡慶信
宗務総長 小野塚潤澄
総務部長 築山定誉
財務部長 野口有興
教務部長 永見聖宏

静岡県仏教会

会長 松村寿顕
事務局長 浅井仏宗
会計 野上達雄
静岡市沓谷蓮永寺中

恭賀・正法顯揚の新歳

新義真言宗
宗務所

宗務総長 木村智廣

東京都台東区谷中五丁目

八番二八号観音寺内
電(821)四〇五三番

臨濟宗妙心寺派
宗務本所

管長 古川大航

宗務総長 華山恵光

臨濟宗南禅寺派
宗務本所

管長 柴山全慶

宗務総長 後藤憲嚴

曹洞宗々務庁

管長 高階瓏仙

宗務総長 中村貞元
参議 福山忍裳

財政部長 乙川瑾映

総務部長 村上道隆

教化部長 山田義道

教学部長 興文丈

社会部長 大川玄道

秘書室長 若山運法

企画室長 芳賀達宗

上野徳隆

浄土宗宗務庁

浄土門主 岸信宏

宗務総長 小林大嚴

西山浄土宗
宗務所

管長 須佐晋龍

宗務総長 守中隆璋

浄土真宗
本願寺派宗務所

門主 大谷光照

総長 豊原大潤

総務局長 神田寛雄

総教学局長 工藤義修

総法式局長 篁良雄

総組織局長 寺田義淳

総公室長局 大内察爾

真宗大谷派
宗務所

管長 大谷光暢

宗務総長 訓霸信雄

参務 大谷演慧

参務 嶺藤亮

参務 星谷慶縁

参務 古賀制二

参務 稲葉真意

総務局長 渡辺俊英

恭賀・正法顯揚の新歳

日蓮宗宗務院

管 長 藤井日静

宗務総長 片山日幹

東京都大田区池上一丁目
三十二番十五号

妙見宗宗務本庁

代表役員 野間秀泉

大阪府豊能郡能勢町
野間中七一八番地

融通念仏宗

管 長 西洞院時雄

宗務総長 宮島義讚

参 務 久保田教順

参 務 中川竜憲

参 務 萩元明信

真言宗山階派 大本山勸修寺

宗務長 川原快俊
執行長

京都市東山区山科
勸修寺仁王堂町
喪中につき
年賀欠礼いたします。

神奈川県仏教会

総 裁 岩本勝俊

会 長 高橋隆夫

常務理事一同

横浜市南区中村町一―一七
(玉泉寺内)
電話横浜〇四五(五)七五八

東京都仏教 連 合 会

会 長 来馬道断

常務理事一同

事務局長 神野真一

事務所 東京都豊島区巣鴨
二―三(高岩寺内)

財団法人

全日本仏教 尼僧法団

理事長 北川教全

東京都足立区興野町
電話(887)五二六〇

岡山県仏教会

会 長 高峰秀海

副会長 松永大俊

副会長 宮崎海優

副会長 井上観潤

事務局長 都守泰一

岡山市平井(元)妙広寺内
電話〇八六(二七七)八三〇二番

昨年中は格別のお引立を
ます

本年も倍旧の御愛顧のほ



いただき厚く御礼申上げ

どひとえにお願いします

本年も倍旧の
お引立をお願いします

石川真珠

石川伸次郎



営業所 神奈川県逗子市逗子7-1-9
TEL 0468 (71) 6231
養殖場 三重県志摩郡大王町波功

楽しい旅をおとどけする

国内旅行

海外旅行

外人観光

航空貨物取扱

成田山大本堂落慶記念
大開帳



参詣と観光の旅
〈会員募集〉
43年3月～4月

■本社 名古屋 ■営業所 全国140カ所

賀 正

昭和43年 元旦

 近畿日本ツートリスト

本社ビル航空営業所

東京都千代田区神田松永町19の2 (東京近鉄ビル内)
TEL (255) 7111 内線381～3 夜間直通 (255) 6952



日本海外旅行株式会社

(ニツカイ・トラベル)

東京都千代田区麴町2-2
ニツカイビル
TEL 265-5921 (代表)

ごあいさつ

私どもは会社創立以来、宗教界専属の機関として一貫して海外への仕事をさせていただいてまいりました。今後とも一層の努力をいたします所存でございますので、どうか相変らずお引立をいただきますようお願い申し上げます。

取締役社長 木村俊之介 宗教担当課長 橋本栞生

昭和四十三年一月一日発行
一月号 第一三二号

発行人 伊藤勝淳
編集人 柳了堅

東京都中央区築地三十一番一 (本願寺)
発行所 全日本仏教会